



スポ推よこすか

令和3年1月29日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 林 但

第2回 CSY杯グラウンドゴルフ大会

令和2年11月6日(金) 様横須賀リーフスタジアムの人工芝グラウンドにおいて市内より11チームが参加して第2回CSY杯グラウンドゴルフ大会が開催されました。



コロナ禍での大会ということで、今回は開会式・閉会式を行わず、三密対策を考えた処置をとりました。

受付もマスク・フェイスシールド・手袋・防護服・アクリル版の設置、選手には、検温・消毒を行い、万全の感染防止対策を行いました。

プレーは、極力他のチームと密にならないようにコースも間隔をあけて行いました。

ラウンドは、昨年同様2ラウンド16コースでチーム対戦としました。参加者からは、外出もままならない昨今久しぶりに青空の中有意義な時間を過ごすことができ来年もお願いしますと、多くの方から感謝の言葉を戴きました。



今後も継続して実施し、グラウンドゴルフの裾野の拡大を図っていきます。成績は、協議会HP掲載 URL <http://sukataishi.jp>



記事 副会長 石川 輝雄(森崎)

写真 広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

With コロナとスポーツ活動

新型コロナによる感染が出た2月頃は数ヶ月もすれば終息するのではないかと考えていました。ところが実際はいつ終息するか先が全く見えない状況が続いております。小学校や中学校の体育館や校庭での学校開放も中止の期間を経てガイドラインに沿いながら運用になっています。

スポーツ推進員協議会の活動や横須賀市からの依頼で行う行事も中止をせざるを得ませんでした。そんな中11月に協議会主催のグラウンドゴルフ大会を行いました。そこに至るには三役会議を何度も行い、常任理事の方に事情を説明して書面審議を踏まえ、スポーツ振興課とも話し合っ「新しい生活様式」の中でのスポーツにおいてどんなことに注意し、何に配慮などしなければいけないか、を見つけるためにも行うことにしました。

神奈川県スポーツ推進委員連合会総会、その後の理事会などで近隣や交流ある市町の情報や理事会研修会で配布された資料を参考にしました。「中止」を前提にして考えていた部分もありましたが、市民の方がストレスや運動不足で苦慮されている状況も肌で感じておりました。

感染症の正しい知識を習得し、予防のために必要なことをリストアップしてきちんと理解することで、中止ではなく工夫した運営や「限定開催」で市民の方にスポーツを提供できるのではないかと考えております。機会をとらえ今後も情報収集し、「安全・安心に身体を動かす機会の提供」を模索していくことが、大切ではないかと思ひます。

記事 会長 林 但(富士見)

With コロナと桜学区

2月初旬以降日本に於いても新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月7日に東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言を行い、その後4月16日に対象を全国に拡大しました。

その影響もあって、開催を楽しみにしていた東京オリンピック・パラリンピックも延期となってしまいました。

さて桜学区スポーツ推進委員は毎年5月の桜小学区ユニーク行事のひとつである子供相撲大会を皮切りに、全世代型事業を展開し地域に於ける人と人とのコミュニティの架け橋となるべく事業の企画・運営を行っております。

しかし今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、年度初めである4月初旬に緊急事態宣言が発せられたこともあり令和元年度年度末及び令和2年度の新年度総会も開催できず、各町内会長等による書面審査にて事業や予算等の承認をいただき活動をスタートしました。

しかし緊急事態宣言化で根付いてしまった自粛モードから脱却できず事業再開の機運が中々高まらない中、5月初旬～6月末の感染状況を鑑みて、定例会に色々と論議を重ねてきました。その結果、次年度以降もこのような状態が続く事を考慮し新しい生活様式の中で如何にして感染防止を図りながら各種事業を展開して行くことで合意形成が図れたため、今年度の第一弾として11月7日(土)ハイキングの実施を決定しました。その後町内会報にて参加者を募集した結果30名の方々より賛同をいただき開催にこぎつけることができました。

開催に当たって、絶対に参加者よりクラスターは勿論感染者を出さないことを肝に銘じ、感染防止に向けた論議を重ね万全の態勢で当日を迎えました。

<具体的感染防止の方策>

1. 感染防止の観点から公共交通機関利用しないで楽しめるコース選定(町内会館⇒塚山公園⇒しょうぶ園⇒町内会館)

2. 参加者全員を対象とした当日受付時の検温及び体調確認

3. 当日は参加者全員マスク着用とソーシャルディスタンス等の3密回避の呼びかけ及びアルコール等の手指消毒励行

4. 昼食時感染のリスクが高まることから少数で食べられる場所選定(複数の休憩場を有するしょうぶ園内)

以上4つの感染防止を図ったことは勿論のこと、参加者全員の意識の高さから感染防止の実践により

感染防止が図れ、楽しいひと時を過ごすことができました。

そこで感じたことは、過去に経験したことない環境下で事業を実施することの難しさでした。実施後の参加者より、自粛ムードで孤立しがちの中ハイキングを計画いただき参加できたことで運動不足解消は勿論のこと、精神的にもリフレッシュでき楽しかったと芳いの言葉をいただきました。企画・運営を行った一人として達成感や充実感を味わうと共に次のステップへのエネルギーをいただくことができました。

現在第3波の中過去の1波・2波と異なり多くの感染者が発生し、各種事業を企画・運営するには更なる試練や困難が待ち受けていると思われれます。

新たな視点での感染防止対策を図りながら住んで良かったを実感できる地域実現に向け、色々な事業を通じて地域住民同士のコミュニティ拡大を行います。自らの命はもちろんのこと大切な人の命を守りながら今何ができるかを模索しながら住民と一体となった活動を推進して行きたいと考えております。

記事 副会長 池田 正英(桜)

日々気になっている事

『私事で恐縮ですが昨年の全国大会で「文部科学大臣表彰」を受賞することができました。

スポーツ推進委員を長く務めたことへのご褒美と思っております。発起人の方々が祝賀会を企画して下さいまして皆様のご賛同を頂きましたがコロナ禍で残念ながら開催できませんでした。この場をお借りして御礼申し上げます。今後とも、ご指導ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

記事 副会長 滝瀬 絹子(神明)

全国スポ推・関東スポ推受賞者一覧(令和2年)

【全国功労者表彰】

林 但(富士見学区) 平岡 義春(馬堀学区)

【関東功労者表彰】

内村 健(野比学区)

編集後記

厳しいコロナ禍の中で色々工夫し、グラウンドゴルフ大会は無事に開催されました。緊急事態宣言の出た中、早く以前のように安全にスポーツが出来る様になることを望みます。手洗い・うがい・体温計測、最善を尽くしコロナに打ち勝ちましょう。

広報部 部長 鈴木 幸子(汐入)
ホームページ <http://sukataishi.jp>